

※みんなで作る末広便りです。
皆さん、どしどし投稿をして下さい。

姫魚図

一、かくの如く形のもの
 当四月八日肥前の
 平戸のはまにあら
 われわれハ龍神の
 使なりことしより
 七年之間諸国ニ
 コロリト云やまひ
 はやり人多く死ス
 我形を家内に
 はりおけば其やま
 ひをのがれ子孫は
 んじやうなり今
 姿をあらわし此事ヲ
 告ルなりといふかと
 思へバみなそこニ
 いる その姿
 凡
 身長五六尺
 かほ三尺斗りと
 人々申伝へしなり

きりとりせん



姫魚図



きりとりせん

【意訳】

このような姿のものが、4月8日に肥前(佐賀県・長崎県)の平戸の浜に現れ、「私は龍神の使いである。今年から7年以内に各地にコロリという病気が流行し、多くの人々が死ぬだろう。しかし私の絵を家に貼っておけばその病気を避けることができ、子孫繁栄する。今私が姿を現したのは、このことを告げるためである」と言うやいなや、海中に消えていった。その姿は約4.5~5m、顔は約90cmほどであったと人々が言っている。

御守

江戸時代末期、今から200年前の事です。当時の流行り病での御守に門口に貼り付けた民間信仰です。今回の新型コロナにも効果があるかも？